

---

# 2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社チェンジホールディングス  
証券コード：3962

2024年8月14日

**CHANGE**  
**HOLDINGS**

Copyright CHANGE Holdings, Inc. All Rights Reserved.



# 当社グループ ミッション

||| 人を変え、ビジネスを変えて、日本を変えます。

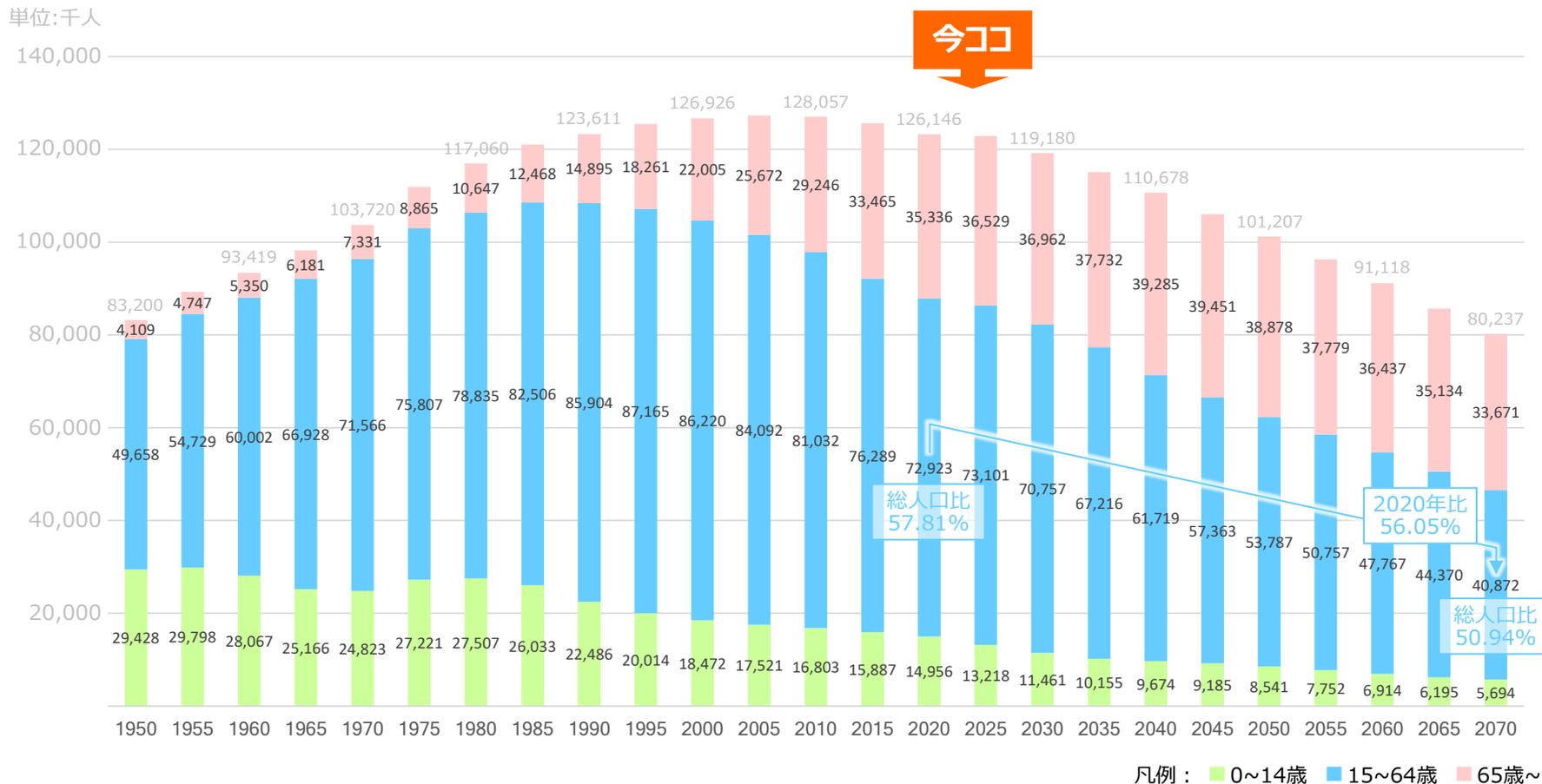


**CHANGE**  
**HOLDINGS**

**Change People,  
Change Business,  
Change Japan.**

# 問題意識から危機意識へ

## III 生産年齢人口は50年後に約半減し、総人口に占める割合も5割まで低下する。



出所： 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」(https://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2023/pp2023\_gaiyou.pdf)  
 【2025年から】表1-3「総数,年齢3区分(0~14歳,15~64歳,65歳以上)別総人口及び年齢構造係数：出生低位(死亡中位)推計」  
 【2020年まで】資料表1「総数,年齢3区分(0~14歳,15~64歳,65歳以上)別総人口及び年齢構造係数：1950~2020年」を元に弊社作成

# 我々の描く道のり

## III 日本のデジタル時代を創る、第2章の最終年度を進行中。



Digitize  
&  
Digitalize Japan



- III ビジネスモデル・業務プロセスのデジタル化、およびデジタル人材の育成を通じて、日本の生産性向上を成し遂げます。
- III “Digitize & Digitalize Japan” を成し遂げるための取組みを phase5 まで続け、人口減少という社会課題に立ち向かい、この国難を乗り越える主役となります。
- III 中期計画「第2章」=【DJ2】につき、修正版を発表して最終年度が進行中。

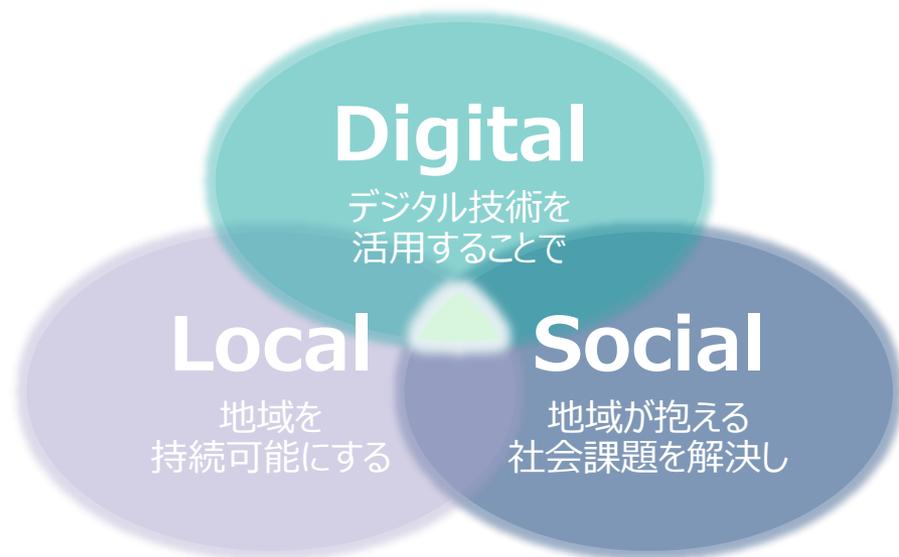
※ 修正版の中期計画【DJ2】の中身はこちらを参照下さい  
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3962/tdnet/2123306/00.pdf>

※ 24.3期末決算で業績目標の一部を修正しています。内容は決算説明資料を参照下さい  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/3962/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym/155926/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/3962/ir_material_for_fiscal_ym/155926/00.pdf)

# “DJ2”の勝負領域

III 【DJ2】では “Local” に舵を切ります。

III Change Japan のスイートスポットは、「DX」×「地方創生」。



- III GDPの約7割を占める「東京圏以外」
- III デジタル化の恩恵を「Local」に行き渡らせることが最重要と判断
- III 持続可能性が危ぶまれる、地域の重大かつ喫緊の課題の解決に挑む
- III 地域でDXを広げるに際しボトルネックとなる「人材不足」に答えを出す

※ SBIグループと連携した施策等での呼び名の統一の意味もあり、従来「地域創生」と呼称していたものを「地方創生」とすることにしましたが、特段対象や力点等の変更を意図するものではありません。

# 当社グループと事業領域

III 各領域に主に関与するグループ各社(連結子会社)は以下の通り。



NEW-IT トランスフォーメーション

パブリテック

人材不足解消(仮)

サイバーセキュリティ

地方創生

公共DX

チェンジ



人×技術

民間DX

人材育成



サイリーグ  
ホールディングス

CyLeague

イー・ガーディアン



アイディールート  
コンサルティング



トラストバンク



ふるさと納税

パブリテック

観光

カーボンプレジット

Orb



トラベルジップ



ガバナンステクノロジーズ



Governance Technologies

ガバメイツ



アップクローズ



# 25.3期 第1四半期 決算サマリー

- ||| 売上収益・営業利益・税引前利益 全て4-6月期としては過去最高を大幅更新。
- ||| DJ2最終年度を仕上げつつ、DJ3への土台を築く。

## 過去最高益 大幅更新

- ||| 既存事業順調な滑り出し+EG寄与分上乘せ  
(去年同期比 売上収益 約59.0%増、営業利益 約3.4倍)
- ||| 上期営業利益目標を既に超過達成  
(持分法適用会社化したディアカの再評価益込で122.7%に到達)

## DJ2仕上げ + DJ3準備

- ||| 事業領域を大きく4つに再整理してDJ2最終年度を開始
- ||| 各領域の事業基盤を強固に整え、DJ2を仕上げつつ次のDJ3の礎を作る

# 第1四半期 概況

今後の展望

# 第1四半期 業績概況（連結）

||| DJ2最終年度の滑り出しは好調、4-6月期としては過去最高益。

||| 下期偏重計画ながら、上期営業利益目標を既に超過達成。

(単位：百万円)	上期 (4~9月)	下期 (10~3月)	通期目標		1Q 実績	
	金額	金額	金額	売上比	金額	売上比
売上収益	16,500	28,500	45,000	100.0%	8,139	100.0%
売上原価	9,567	10,369	19,937	44.3%	4,887	60.0%
売上総利益	6,932	18,130	25,062	55.7%	3,251	40.0%
販売費及び一般管理費等	4,932	7,130	12,062	26.8%	798	9.8%
営業利益	2,000	11,000	13,000	28.9%	2,453	30.1%
金融収益	0	0	0	0.0%	11	0.1%
金融費用	94	89	184	0.4%	180	2.2%
税引前利益	1,905	10,910	12,815	28.5%	2,285	28.1%
法人所得税費用	636	3,386	4,022	8.9%	757	9.3%
当期利益	1,268	7,523	8,792	19.5%	1,528	18.8%
親会社の所有者 に帰属する利益	963	7,106	8,069		1,432	
非支配株主持分 に帰属する利益	305	417	723		96	
(参考) EBITDA	2,950	12,011	14,961	33.2%	2,907	35.7%

## セグメント別内訳

第1四半期

(単位：百万円)

	NEW-IT トランス フォーメーション	パブリテック	調整額
売上収益	4,692	3,537	△90
外部収益	4,602	3,537	—
セグメント間収益	90	—	△90
セグメント利益	2,560	1,053	△1,185

※ 端数処理の関係で合算値は一致しないことがあります

※ セグメント利益の調整額は、主に全社費用に該当する一般管理費です

||| 各領域の事業が順調に進展

- 売上収益 昨年同期比 約 **59.0% 増**
- 営業利益 昨年同期比 約 **3.4 倍**

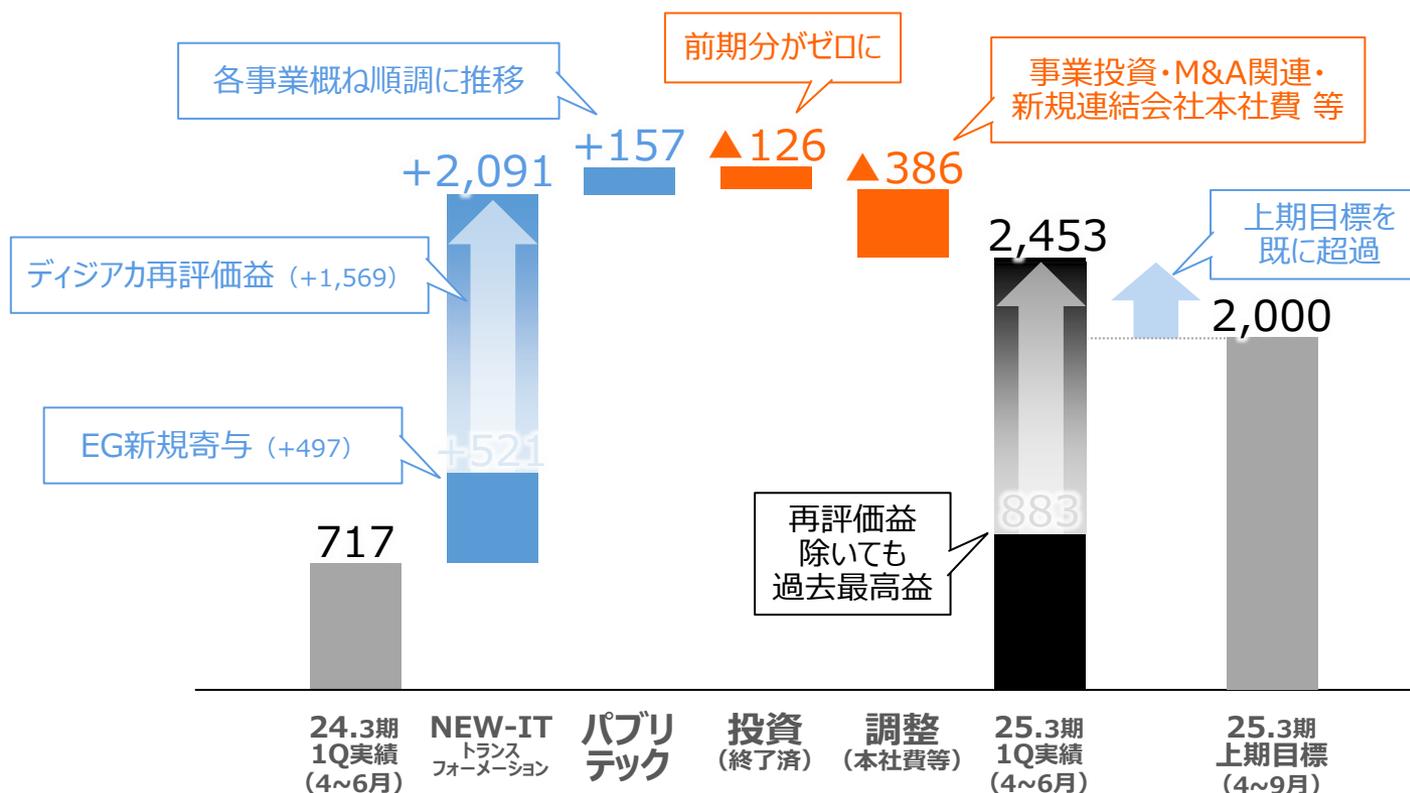
||| 持分法適用会社化したディアカの再評価  
益計上等もあり上期目標を既に超過達成

# 業績概況 補足

- ||| 既存各事業の概ね順調な滑り出しに加え、EG寄与分が上乘せ。
- ||| デিজアカは持分法適用会社化に伴い再評価益を計上。

## 対昨年同期 増益要因

※営業利益  
※単位:百万円

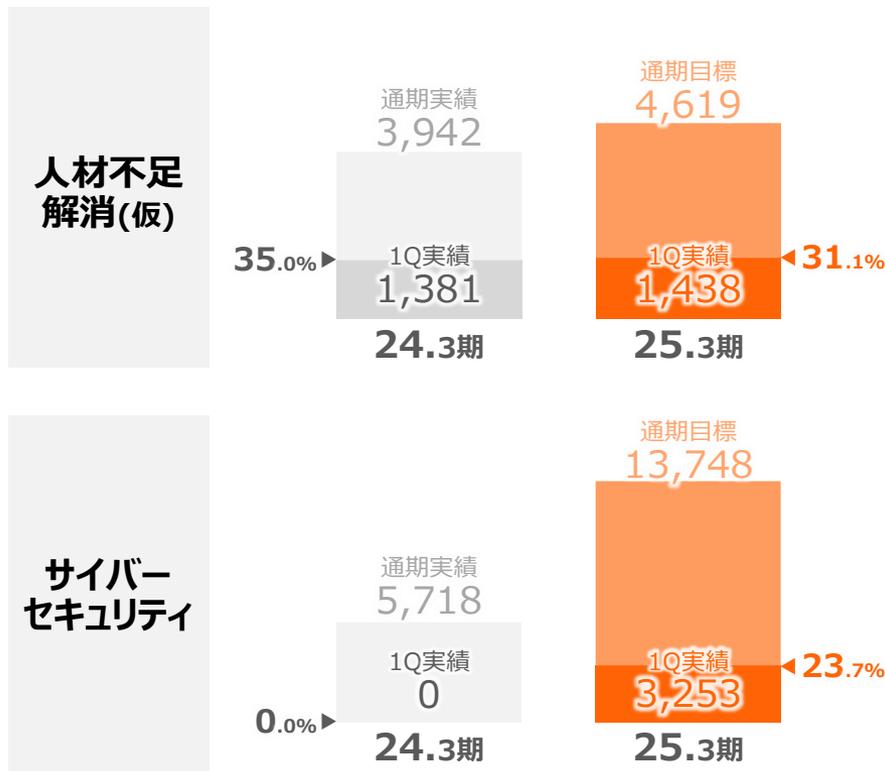


# 業績概況 補足 ~新4領域別の概況~

- ||| 新たな4領域別の売上収益の概況は以下の通り。
- ||| パブリテックの2領域は特に下期偏重型の傾向が強い。

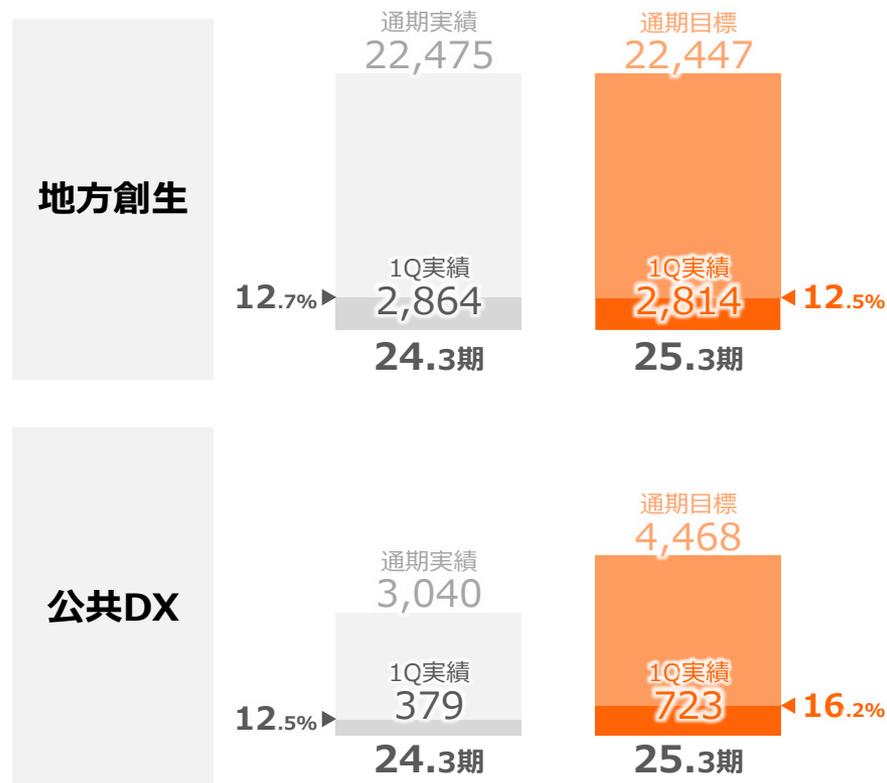
## NEW-IT トランスフォーメーション

※売上収益  
※単位:百万円



## パブリテック

※売上収益  
※単位:百万円



※24.3期の数値は遡及して新4領域に再集計し算出

※人材不足解消(仮)領域の24.3期は比較のためにデジアカの数値を控除して算出

※サイバーセキュリティ領域の24.3期はEG社が3Qより連結のため、1-2Qは実績なし、通期は3-4Qのみ対象

# 第1四半期 主なトピック

～DX支援側のセキュリティ人材育成～

- ||| 広範なセキュリティ人材不足に対し、まずDXを推進・支援する側の底上げを急ぐ。
- ||| 人材サービスの主要顧客であるICT/SI企業を中心に早期導入拡大を狙う。

## セキュリティ人材育成 Security for DX プログラム



### 必要十分な 網羅度

- ||| 既存の研修は内容が両極端
  - ① 一般向け初歩教育
  - ② 技術者向け要素技術教育
- ||| DX推進に必要な十分な要素を網羅
- ||| エンジニアに限らず、ICT/SI企業の文系新卒や営業職も対象

### 3コース 編成

#### 基礎編

- ||| 全エンジニア・営業職向け
- ||| リスクベースのセキュリティ対策を事例とケースから学習

#### 実践編

- ||| PM・SE・PG向け
- ||| セキュアな設計・コーディングを仮定の攻撃体験を通じ学習

#### DX 事業編

- ||| システム管理者・事業運営者向け
- ||| セキュリティ運用やDevSecOpsの確立等、事業フェーズに応じた対策をシナリオワークで学習

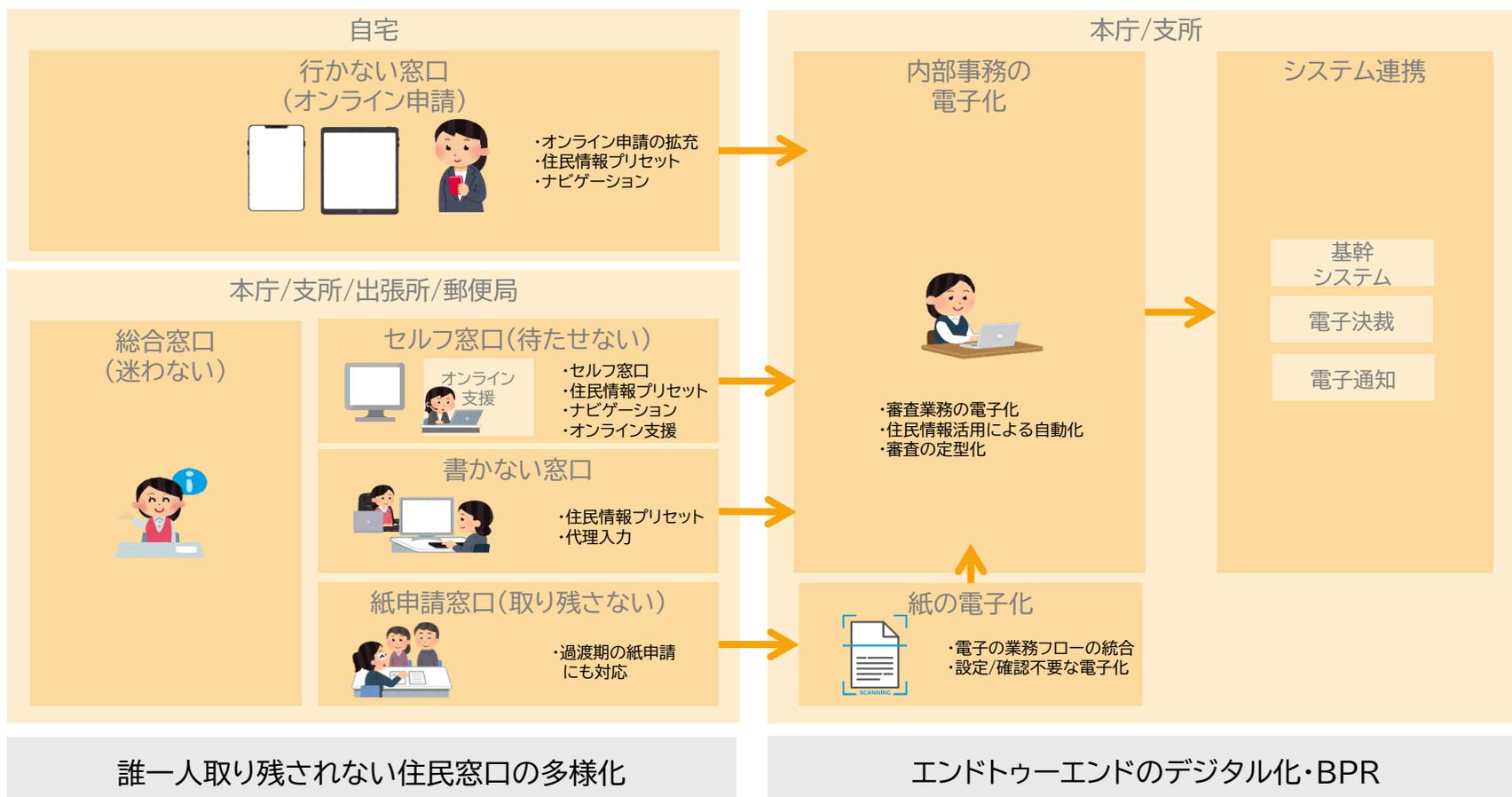
# 第1四半期 主なトピック

～総務省モデルPJ 支援事業を受託～

- ガバメイツが総務省の「改革モデルPJ」に採択された2自治体の支援事業を受託。
- 今治・袋井・阿久根等でのモデルを拡張し、デジタル化した自治体業務を横展開。

## フロントヤード改革

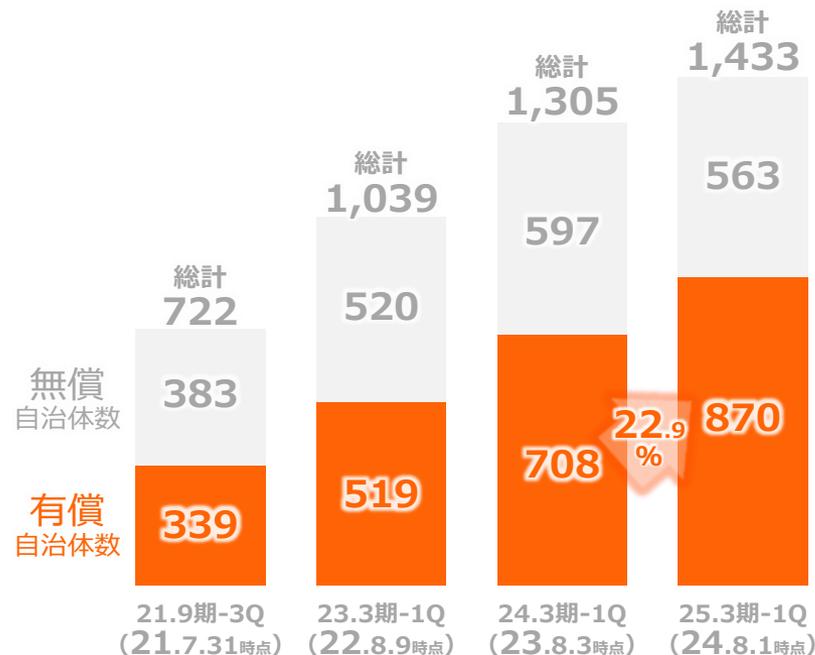
## バックヤード改革



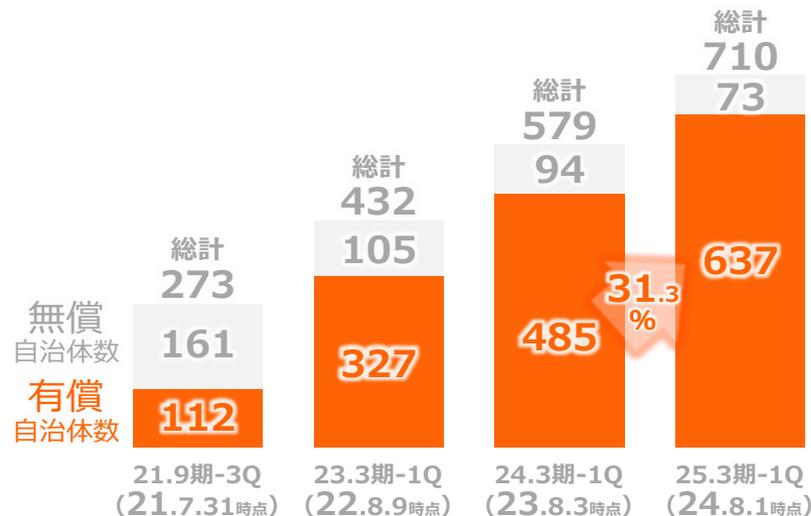
# 第1四半期 主なトピック ~LoGoシリーズ 引続き好調~

- III デジタル化した自治体業務の基幹を成すサービスとして順調に普及が進む。
- III 都道府県主導での市町村連携等、ネットワーク効果による効用も拡大。

## LoGoチャット



## LoGoフォーム



※ 一部関連団体の数を含む  
 ※ 22.3期は会計期変更に伴い2Qまでの変則6ヵ月決算

# 第1四半期 主なトピック ~「体験型」ふるさと納税 続々~

- III 体験型のお礼の品を紹介する「きふたび」のリニューアルに続き、地域の食事体験を紹介する「チョイスグルメ」をスタート。地域の交流人口創出につなげる。

## チョイストラベル

ふるさと納税で極上の旅と体験を

4.23~



## チョイスグルメ

ふるさと納税でちょっと特別な一皿を

6.19~



# 第1四半期 主なトピック ~Carbon EX と業務提携~

- ||| 国内外の排出権取引市場へのアクセスを提供するCarbon EX社と協業を開始。
- ||| 地方に資金循環をもたらすカーボンのクレジット事業の立上げを急ぐ。



**CHANGE  
HOLDINGS**

- 取引企業、自治体の紹介
- カーボンのクレジット分野における新規事業開発



- 排出権取引所
- ボランタリーカーボンのクレジット
- J-クレジット
- 非化石証書
- アドバイザリー など



- 再エネ企業
- 森林管理農業者
- 森林所有者
- 地方公共団体 など

# 第1四半期 主なトピック ~自己株式取得完了~

## ||| 7.19既報の通り、自己株式取得につき予定株数の取得を完了。

### 予定 (5.15取締役会決議内容)

#### 目的

- ||| 株主還元の拡充
- ||| 今後のM&A・アライアンス等への活用

#### 取得上限

- ||| 3,650,000株 (5.04%\*)  
\*発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合
- ||| 最大4,745百万円

#### 取得期間

- ||| 2024.5.16 ~ 2024.12.31

#### 取得方法

- ||| 東証における取引一任契約に基づく市場買付

### 実績

5月  
(5.16~5.31)

- ||| 1,795,700株
- ||| 2,182,331,600円

6月  
(6.1~6.30)

- ||| 981,400株
- ||| 1,203,792,000円

7月  
(7.1~7.18)

- ||| 872,900株
- ||| 1,090,416,200円

累計

- ||| 3,650,000株
- ||| 4,476,539,800円

## 第1四半期 概況

## 今後の展望

# サイバーセキュリティ領域 ~「コミュニティ経営」を推進~

- ||| 国内勢力の結集に向け、ベースとなるネットワーキングの裾野を広げる。
- ||| 内外への発信を通じ、問題意識を共有する各分野の同志の集積に繋げる。

## サイバーセキュリティWG 設立

**FINOLAB**  
THE FINTECH CENTER of TOKYO

設立

WG

電通総研 CAULIS  
**CyLeague**

- ||| FinTechのエコシステム形成を進める会員組織FINOLABの会員企業と共にワーキンググループを立上げ
- ||| 幅広い業種・業界、関係機関との共創の取組を推進
- ||| セキュリティ市場の活性化や人材価値の向上を目指す

## JDX加入 ~セキュリティ部会へ提案活動~

Japan Digital Transformation  
Promotion Association  
**JDX**

アドバイザー

**CyLeague**

- ||| (一社)日本デジタルトランスフォーメーション推進協会に加入し、セキュリティ部会に対し提案活動を推進
- ||| 「セキュリティ人材研究会」設立を提言し発信の場を増やす

# 人材不足解消(仮)領域 ~メタモーフォーゼ 進展中~

- ||| Gr各社のサービスをGr内相互に導入する取組を展開中。
- ||| 短期的な果実を得つつ、自ら最も厳しいユーザとなりサービスの進化を生み出す。

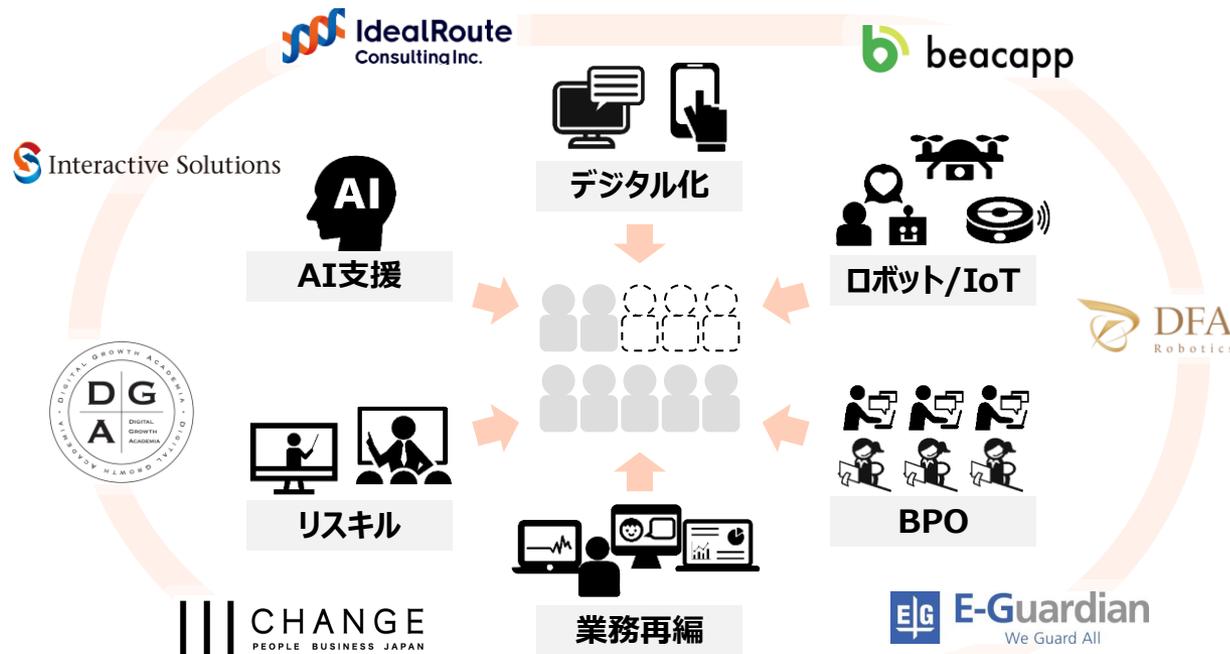
## Gr内相互展開PJ

① Gr外への  
現金流出抑制

② 導入コンサル  
育成

③ サービスの  
組替え・進化

「人が採れない」に対し 採用“以外”の答えを創り出す



# 地方創生領域 ~ふるさと納税制度 告示改正~

- ||| 総務省からふるさと納税に関し新たな変更が発表された。(6.25)
- ||| 従来より制度趣旨に沿った運営に注力してきた当社Grは相対的に影響は小さい。

## 告示改正の主なポイント

### 募集適性 基準

- ||| ポイントを付与した寄付募集を禁止
- ||| 返礼品を強調した宣伝広告も禁止
- ||| 食品返礼品の産地表示を厳格化

### 地場産品 基準

- ||| 返礼品価値の「過半」が区域内で生じていることの証明が必要
- ||| 地域との関連性が希薄な役務は対象外

## 当社Grの対応

### 制度趣旨を 遵守

- ||| ポイント付与を軸とした宣伝施策は既に実施していない
- ||| 返礼品開発は継続支援しつつ、過度に強調した宣伝を控え本来の「寄付」を募る

### 独自戦略 強化

- ||| 既に成果の出つつある独自戦略を強化  
→ アライアンス、リアルチャネル、交流人口増 等
- ||| これまでの蓄積を活かした施策を展開  
→ ポイント以外で地域への関心を呼び込む

※ ポイント付与禁止は令和7年10月より適用。詳細は総務省の報道資料等を参照  
[https://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01zeimu04\\_02000126.html](https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01zeimu04_02000126.html)

# 地方創生領域 ~「体験型」お礼の品で関係人口増~

- ||| 地域への訪問を伴う「体験型」のお礼の品の人気はコロナ以降右肩上がり。
- ||| ふるさと納税した地域を旅先に選ぶ行動\*と併せ、関係・交流人口増を狙う。



## 愛知県豊橋市

- 夏休み小学生向け
- 限定2組
- 路面電車と思い出に残る1日を
- 営業所見学・運転体験



## 静岡県 藤枝市

- 水車むら 田舎暮らし 半日体験プラン
- 「自然をいただく」
- 食事づくりを薪割りや火起こしから体験できる



\*: トラストバンク「旅行とふるさと納税に関する調査」より  
寄付経験者の約4割がふるさと納税をきっかけとした国内旅行の経験ありと回答  
<https://www.trustbank.co.jp/newsroom/newsrelease/press767/>

# 地方創生領域 ~寄付金の「使い道」の訴求へ~

III 改めて制度趣旨に立ち返り、設立当初来の「使い道」の訴求を更に強化していく。

  
**ふるさとチョイスGCF®**  
2013.9~



**ふるさとチョイス  
AWARD2023**  
未来につながるまちづくり部門

- 北海道赤井川村の取組
- GCF×企業版ふるさと納税で車両購入費を募集
- 地域のタクシー事業者とリゾート事業者がタッグ

  
**ふるさとチョイス災害支援**  
2014.9~



**子どもたちを応援できる  
お礼の品特集**

- いつもの寄付で応援
- 寄付をする際「使い道」で課題解決PJを選択
- 教育・福祉・貧困・医療等様々な分野から選択

## III DJ2の焦点を「Local」とした意味と、本来の制度趣旨の重なりを体現していく。

### ふるさと納税をやめよう。

なんて言いたくないから、

ふるさとチョイスは改めて、

「ふるさとを応援する」意義を伝えたい。

ふるさとの可能性を信じる存在でありたい。

ふるさとに寄り添い続ける存在でありたいから。

あなたの意思をふるさとに。

#ふるさと納税を考えよう



TRUST BANK

### ふるさと納税は 地域を知るきっかけ。

私たちは

ふるさと納税の大切なことを伝えられていない。

そう感じています。

返礼品はあなたが地域を知るきっかけ。

そのきっかけから、地域のモノやコト、そしてヒトの魅力が  
少しずつ見えてくる。

あなたの意思で選んだ地域の魅力をもっと知ってほしい。

そして、心が動く瞬間がきたのなら、あなたもその地域の一員。

あなたの意思が、地域の未来を創っていく。

#ふるさと納税を考えよう



ふるさとチョイス AWARD 2023

ふるさとチョイス AWARDは、地域で活躍する「人」にスポットを当て  
ふるさと納税の裏面で起きたストーリーや、地域の人の思いを  
後継する年に一度のイベントです。

開催日時：2024年3月16日（金）13:00-17:40  
掲載サイト：https://www.furusato-choice.jp/  
ふるさとチョイス AWARD は LIVE 開催で  
ご観覧いただけます。  
詳しくは特設サイトをご確認ください。



TRUST BANK

# 公共DX領域 ~直近の注力領域~

- ||| 全業務×全自治体の網羅を狙いつつ、直近の注力領域を定める。
- ||| 他業務への波及効果が高い領域で浸透を急ぎ、DJ3への展開に繋げる。



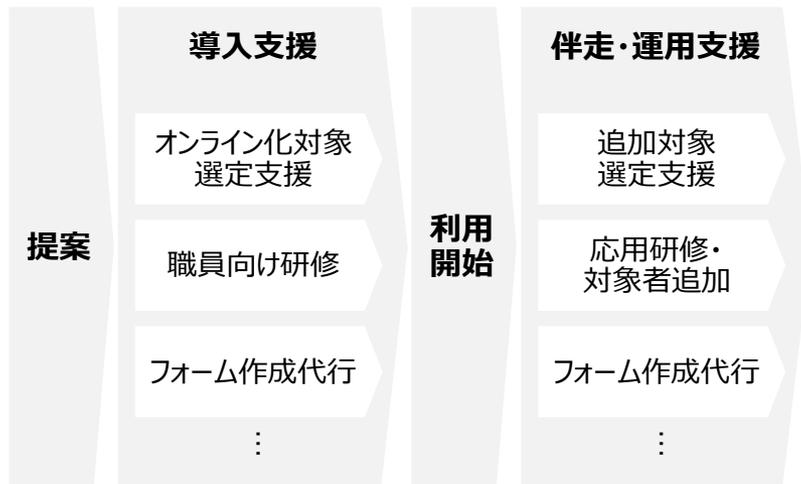
# 公共DX領域 ～予算・調達領域の課題解決～

- 自治体の調達業務の大枠は概ね類似しているが、現状有効な支援は断片的。
- 利用場面の近接するオフリングの充実を優先し、顧客の利便性を高める。



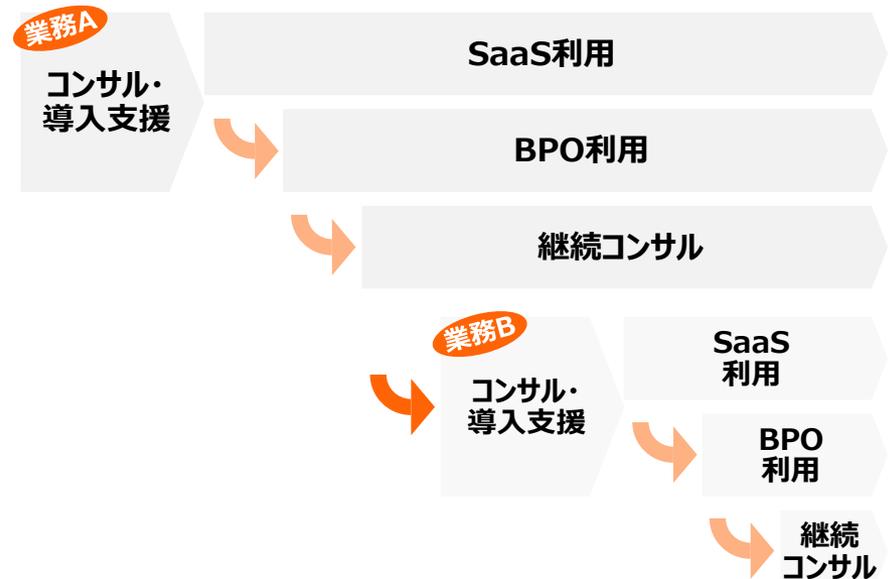
## III ユーザ自身の変化・成長までコミットし、真のトランスフォーメーションを達成する。

### 支援拡張の例 ~LoGoフォームの場合~



- III ガバメイツによるコンサルサービスを組合せ支援を拡張・強化
- III 顧客の成功体験が横展開しやすくネットワーク効果も高まる
- III 案件単体で手間が掛かっても総体として成果が見合う

### 継続的なタッチポイントからの面展開



- III 一般的なSaaSの顧客サクセスの範疇を超えて継続的且つ総合的な支援体制も整える
- III コンサルやBPOを徐々に地場パートナーに移管し、地域の雇用創出や自立的経済循環につなげる

- III 本資料に記載されている、将来に関する予測・見通しなどは、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、不確実性を含んでおります。
- III 実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。



**CHANGE**  
**HOLDINGS**